

STUDENT NUMBER

								Letter
--	--	--	--	--	--	--	--	--------

# JAPANESE FIRST LANGUAGE

## Written examination

Thursday 14 November 2019

Reading time: 3.00 pm to 3.15 pm (15 minutes)

Writing time: 3.15 pm to 5.15 pm (2 hours)

### QUESTION AND ANSWER BOOK

#### Structure of book

<i>Section</i>	<i>Number of questions</i>	<i>Number of questions to be answered</i>	<i>Number of marks</i>	<i>Suggested times (minutes)</i>
1	1	1	25	30
2	1	1	30	40
3	5	1	25	50
			Total 80	120

- Students are permitted to bring into the examination room: pens, pencils, highlighters, erasers, sharpeners, rulers and any printed monolingual and/or bilingual dictionary in one or two separate volumes. Dictionaries may be consulted during the reading time and also during the examination.
- Students are NOT permitted to bring into the examination room: blank sheets of paper and/or correction fluid/tape.
- No calculator is allowed in this examination.

#### Materials supplied

- Question and answer book of 18 pages, including **assessment criteria** on page 18

#### Instructions

- Write your **student number** in the space provided above on this page.
- Write all your answers in the spaces provided in this question and answer book. The spaces provided give you an idea of how much you should write.

**Students are NOT permitted to bring mobile phones and/or any other unauthorised electronic devices into the examination room.**

**THIS PAGE IS BLANK**

**THIS PAGE IS BLANK**

**TURN OVER**

**SECTION 1 – Listening and responding****Instructions for Section 1****Text 1, Question 1 (25 marks)**

You will hear one text. It will be played twice. There will be a pause of approximately five minutes between the first and second playings of the text. You may make notes at any time.

Listen carefully to the text and then answer the questions in **JAPANESE**.

**TEXT 1****Question 1**

- a. 東京パラリンピックの水泳には、公平に競技を行うためのどんな仕組みがあるか。

---



---

- b. 田中選手の泳ぐ時のテクニックを二つ挙げよ。また、その効果は何か。

---



---

- c. 田中選手は水泳をする中で、どんな問題に直面したか。その問題の根本的な原因は何だったのか。説明せよ。

---



---

- d. インタビュアーは「田中選手はパラリンピックの精神を体現している」と言っているが、その精神とは何か。具体的に、田中選手はどうそれを体現しているのか。

---



---



---



---

You may make notes  
in this space.



## SECTION 2 – Reading and responding

### Instructions for Section 2

#### Texts 2 and 3, Question 2 (30 marks)

Read the two texts and then answer the question in 900–1100 *ji* in **JAPANESE**.

#### TEXT 2

あなたは地元市役所のネット掲示板で以下のような投稿を見つけた。

#### 「子ども食堂」立ち上げます！

場所を継続的に提供して下さる方を募集します！

私たちは子育てが終わった 50 代女性 3 人組です。一人はカウンセラー、一人は栄養士、もう一人は保育士免許を持っていて、平日はパートとして働いていますが、週末にそれぞれの資格を活かして「子ども食堂」を始めたいと思います。食材の調達やボランティア職員の募集、子供たちへの宣伝方法、子どもの安全に関する保険加入などの目途は立っています。あとは子ども食堂の会場を提供して下さる方を募集するのみです。希望会場の条件は以下の通りです。

- 週末(土曜日または日曜日の 16 時から 20 時)に使うことができる
- 20 人程度(またはそれ以上)が着席できるテーブルと椅子がある
- 20 人分程度の食材が貯蔵できる冷蔵庫がある
- 近所の子どもが歩いて来られる安全な環境にある

無償で場所をお借りできれば大変に有難いですが、レンタル料の支払い交渉も致します。ご興味のある方、まずは下記にご連絡ください。

山上めぐみ 22-3346

#### TEXT 3

#### 君には出来ない「子ども食堂」

加藤幸三

このレポートに目を留めてもらおうと、あえて挑発的なタイトルをつけた。これは子ども食堂運営に失敗した例を取材し、報告するものだ。最後までお読みいただければ、決してあなたの子ども食堂への意気込みを萎えさせたいのではないという私の本意を分かってもらえるだろう。

子ども食堂の活動は 2012 年に、「子どもが一人でも安心して来られる無料または低額の食堂」として東京で始まった。その背景には、親不在で一人でご飯を食べている子どもや、満足にご飯を食べられていない子どもの増加があった。

この子ども食堂の活動は急速に普及し、現在は少なくとも 2200 か所以上ある。全国に約 2 万か所ある小学校の十分の一、約 4000 か所ある児童館の半分の数である。この数字からも、今や子ども食堂は一時のブーム現象を超え、多くの人たちがその存在を身近に感じるものになりつつあることがうかがい知れる。

You may make notes  
in this space.

You may make notes  
in this space.

子ども食堂の運営には、営業認可や免許が必要ではなく、「ふつうの人々」が任意で立ち上げて拡大してきた。これは、多くの人々が、子どもの貧困や孤食の問題に関心を寄せ、それを解決する力になりたいと感じ、アクションを起こした証拠でもある。

今でも、子ども食堂は各地で次々とオープンしているが、継続して開催することが難しく、大人の勝手な都合で、食堂が短期で突如閉店になるケースもある。子ども食堂の多くはボランティア支援によって運営されているため、月に2回夕飯時の定期での開催が多いが、学校が始まる前に朝食を提供している食堂や、給食のない週末、夏休みや冬休みなどの長期休暇中に期間限定での開催もあり、食堂によってまちまちだ。

子ども食堂の運営活動の多くがボランティアベースであるがために、専任のマネージャーや、毎回参加できるボランティア要員、調理スタッフの確保が難しく、延期を繰り返し、やがて閉店になる。借りた会場が繁華街の飲食店だったケースでは、子ども一人では入りにくく、大人向け椅子やテーブルしかなく、調理場も狭く、照明も暗かったため実現には至らなかったこともあった。また、子ども食堂に出入りすると、貧困家庭の子どもだという目で見られ、参加に抵抗を感じる家庭も多い。事前の開催宣伝が子どもたちに行きわたらず、参加を逃した子どももいる。月に1回や不定期開催で、児童館のお食事イベントの雰囲気から脱出できないまま閉じた子ども食堂もある。

ハード面だけでなく、ソフト面の部分にも問題があり、子ども食堂を止めた主催者側からの「来てほしい子供に来てもらえなかったから続けるのが難しかった」との声に如実に表れている。だが、子ども食堂は民間の自発的活動であるという点をむしろ活かすべきだ。役所から補助金を受けている訳でもないのに、そこはもっと柔軟に考えたらどうだろうか。本当にお腹を空かせ食事を必要としている子かどうかにこだわらず、どんな理由であれ、来たい子ども、来ている子どもを「来てほしい子ども」として考え、持続させていくのが、地域の誰でも来られる居場所として根付くカギであろう。自宅で菓子パンの孤食より、みんなと食卓を囲みながら会話を楽しみ、バランスの良い食事をした方が良いだろう。子どもが放課後に過ごせる、言わば、自宅や学校以外の居場所と考えたほうが良いだろう。

一方、やはり子どもが出入りする場所であれば、安心と安全が保障されねばならない。子ども同士で遊ぶ時に怪我をするかもしれない、ボランティア職員の大人が信用できる人間であるかどうか、食物アレルギーや食中毒の保険など、これから法整備されるべき課題が多い。

## Question 2

あなたはテキスト2にある案内を読み、地元の子どもの食堂の設立に協力したいと思った。アルバイト先の喫茶店は大きな小学校の裏にあり、午後5時に閉店で、日曜日は定休日である。テキスト3を踏まえ、子ども食堂、その設立のリスクも念頭に置きながら、アルバイト先の喫茶店オーナーの田中さんに「子ども食堂への場所提供に関する提案」を件名とするEメールを書け。











**SECTION 3 – Writing in Japanese****Instructions for Section 3****Questions 3–7 (25 marks)**

Answer **one** question in 1000–1200 *ji* in **JAPANESE**.

Space is provided on the following page to make notes.

**Question 3**

日本では季節の節句に合わせた伝統行事や、海外から取り入れた行事など様々な行事が行われているが、行う人が減少している行事もあれば増加している行事もある。日本の行事の実態についてどう思うか評価して、地域のニュースレターに載せるエッセイを書け。

**OR****Question 4**

日本では外国人労働者が年々増えており、2018年12月に出入国管理法も改正された。外国人労働者が増えることの利点とは何か。また外国人労働者の増加が及ぼす問題、外国人労働者が抱える問題や今後の課題は何か。クラスで発表するためのスピーチ原稿を書け。

**OR****Question 5**

2017年3月に発表された新小学校学習指導要領に、小学校でプログラミング教育が必修化されることが記載された。これにより2020年度から全国の小学校でプログラミング教育が行われることになる。小学校でプログラミング教育が必修になることの利点と問題点の両方から考え、新聞の読者の欄に投稿する記事を書け。

**OR****Question 6**

あなたは競争率の高い仕事に応募した。大勢の応募者の中で自分が適任であることを面接でアピールして、その仕事を得ることができた。その面接のことを日記に書け。

**OR****Question 7**

あなたは道で鍵を拾った。そこから始まる不思議な出来事についての話を書け。その話は高校生小説コンテストに応募するためのものである。

You may make notes in this space.

Write your response on the following pages.

**SECTION 3 – continued**  
**TURN OVER**











### **Assessment criteria**

#### **Section 1 – Listening and responding**

- the capacity to understand general and specific aspects of texts
- the capacity to convey information accurately and appropriately

#### **Section 2 – Reading and responding**

- the capacity to identify and synthesise relevant information and ideas from the texts
- appropriateness of structure and sequence
- accuracy, range and appropriateness of vocabulary and grammar (including punctuation and, where relevant, script)

#### **Section 3 – Writing in Japanese**

- relevance, breadth and depth of content
- appropriateness of structure and sequence
- accuracy of vocabulary and grammar (including punctuation and, where relevant, script)
- range and appropriateness of vocabulary and grammar

An answer book is available from the supervisor if you need extra paper to complete an answer. Please ensure you write your **student number** in the space provided on the front cover of the answer book. **At the end of the examination, place the answer book inside the front cover of this question and answer book.**

**END OF QUESTION AND ANSWER BOOK**